

## 平成29年度アドバイザー派遣事業実施レポート

- 1 研究団体名 加藤先生に道徳を学ぶ会
- 2 研修テーマ 「考え、議論する道徳」への転換  
～よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成～

本研究会は、平成27年度より河崎小学校を拠点校として、継続的に「テーマ発問による道徳の授業」についての授業研究会を実施している。今年度も引き続き、アドバイザーとして講師を招聘し、「考える道徳」について学ぶことによって、児童一人一人の道徳性を育むことのできる授業力の向上を目指そうと考えた。

- 3 アドバイザー  
筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行先生

加藤先生は、「深く考える道徳授業」の第一人者として広く知られる存在である。道徳授業の転換を図るために、教師の発問力の重要性を提唱し、道徳の研究組織を立ち上げて、全国の教師とともに研究に取り組まれている。そして、その成果は、自身の著書、研究雑誌から伺い知ることができる。本校児童との授業展開の姿から、今後の道徳授業に不可欠である明確なねらい、またそれに即した発問づくりなど、授業改善の示唆を受けることができた。

### 4 研修の概要

日時	平成29年10月13日（金）	13:40～16:55
場所	米子市立河崎小学校（米子市河崎2677）	
日程	13:40～14:25	公開授業 本校 2年1組 勤勉努力 「おりがみめいじん」
	14:40～16:55	講義・演習

### 5 研修の成果

授業参観並びに講義・演習を通して、子どもたちが主体的に学ぶ道徳の授業について学ぶことができた。教師が内容項目をどう読み、教材となる資料を用いてどのような問いをつくるかが重要であることを痛感した。参加者全員で、加藤先生の授業や講義を受けることで、授業改善への具体的な手立てを共有できたことは、大変に有意義であった。



